**６．“ How to” 講習**

目標: 自分が紹介したい技術について、発表及び会話ができる。

対象: 中学3年生

文法: How to, want 人 to 不定詞、It is ~ to ~.

準備: ワークシート

備考: 授業は準備の時間と、発表の時間と合計2時間の授業。

**＜タスクの進め方＞**

○Pre-task

１．教師同士で、これから生徒たちが行うアクティビティーのデモを行う

A: Could you tell me how to play the guitar?

B: Sure. Today, I want you to know how to play the guitar. You hold your guitar. with your left hand, hold the neck, and put your fingers on the strings. Then, you hold a pick with your right hand, and hit the strings. You can move your fingers to change the sound.

A: That sounds easy. What are other important things to know?

B: You should know chords. Different chords have different sounds.

A: Ah. What else?

B: It is important to hold the pick softly.

A: Why is it important?

B: It is important to make nice sound.

A: I see. Anything else?

B: That is it.

A: Thank you for teaching me how to play the guitar.

B: You’re welcome.

２．スピーチの内容、そして質問の内容を理解しているかチェックしつつ、

理解させる。

○Task

１．周りの生徒が知らなさそうな技術についての「How to 講習」の内容をワークシートに書かせる。

２．講習の内容が決まり、書きあがった人は、次にそれを自分が初めに話す分と、質問されたら答える分に分ける（ワークシート参照）

３．生徒はこれらが終わり次第、講習に必要な絵（簡単な物で良い）の用意、ジェスチャーの決定、A4の紙に「How to～」と書かれた表紙を作成する（これも装飾無しで、簡素な物で良い）。そして講習の練習を行う。

＊ 1時間目はここまで。残りの準備や練習は、次の授業までの宿題とする。

４．2時間目は、生徒たちが自分の決めた講習について発表をしてもらう。発表の形式は、生徒個人のブースを設け、そこに来るお客（他の生徒）に対して講習を行うというもの（ブースは机を一つ使用。「How to～」と書かれた紙をそれぞれの机に置いてもらう）

５．生徒たちはグループA,B,Cに分かれて、そのグループを発表する側（一つのグループ）、お客さん側（二つのグループ）に分かれる。お客さんグループは二人一組で、時間を区切って順番にブースを回っていく。講習は一回一分程度。

６．お客さん側の生徒は、聞いた内容についてワークシートにメモを取っていく。自分たちが質問した分もメモを取る。

＊ 2時間目のタスクを行う前に、お客さん側の生徒に、質問をするよう指示しておく。（質問の例は、ワークシートを参照）

７．各グループの最後の講習の時に、お客さん側の生徒にビデオカメラを持たせ、講習の録画をさせる。これを評価に使用する。

ビデオカメラは事前に発表する側の生徒に持たせ、録画ボタンを押したこ　とを確認させてからお客さん側に渡させる様に指示する。これは、最後の講習を始める前に全員で確認する。